

議会だより



佐々町夏祭り(8月16日)

◆ 目 次 ◆

□正副議長就任あいさつ……………	2
□新しい議会の構成……………	3
□新たな革命2025 佐々町を想う新議員……………	4～5
□委員会報告(総務厚生・産業建設文教委員会)……………	6
□一般会計補正予算・人事案件・賛否表……………	7
□一般質問(5人が町政を問う)……………	8～13
□西九州自動車道建設促進協議会総会・要望活動……………	14
□委員長研修会・県下町村議会議員研修会……………	15
□町民の声……………	16～17
□議会日誌・編集後記……………	18

佐々町議会だよりHP
QRコード



正副議長就任あいさつ

町議会議員選挙後、初めての議会が令和7年7月1日に行われ、新体制での議会がスタートしました。

今回の最年少議員は29歳で、平均年齢は52歳（改選前議員の平均年齢は67歳／令和7年1月1日現在）となりました。定数10名のうち5名が新人議員となり、また16年ぶりに女性議員が誕生するなど、本町議会が求めていた多様な人材が選ばれました。



議長
川 副 剛



副議長
須 藤 敏 規

町民の皆様には、日頃から議会活動に対し、特段のご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

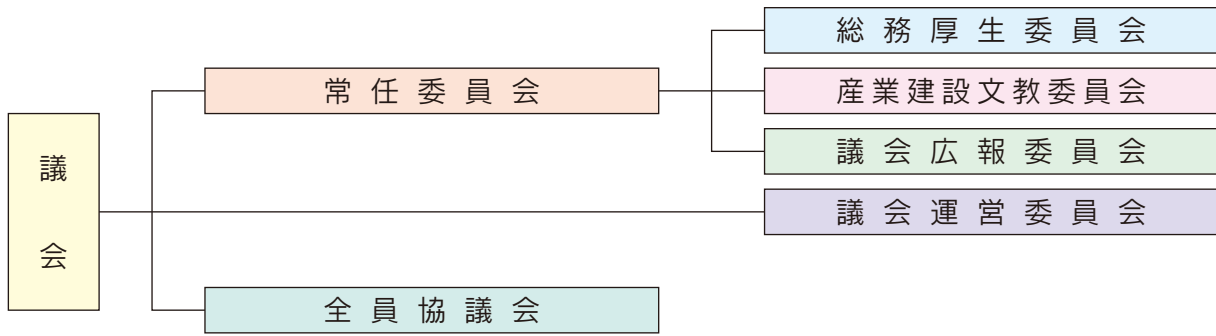
このたび、令和7年7月の第6回佐々町議会臨時会におきまして、議員皆様の推挙をいただき、議長・副議長に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いです。

さて前回の議会だよりにおいて、古庄前町長が逮捕されたことに伴い、議会としての対応を掲載いたしました。この間、町民の皆様をはじめ、各関係機関の皆様には大変ご迷惑とご心配をおかけしました。混乱した町政を立て直さなければならないことに加えまして、物価高騰の対策は、町民の皆様にとって喫緊に解決しなければならない課題と認識しています。二元代表制の一翼として行政への監視機能を果たし、町民の皆様の福祉の向上のため誠心誠意努めてまいります。

今後とも、佐々町議会へのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

新しい議会の構成

● 議会の組織（令和7年7月1日現在）



● 佐々町議会委員会構成（令和7年7月1日現在）

◎…委員長 ○…副委員長

議長 川副 剛
副議長 須藤 敏規

総務厚生委員会



◎永田 勝美 ○黒田 龍之介
須藤 敏規 中川 由美恵
棚橋 優汰

産業建設文教委員会



◎横田 博茂 ○井上 智恵美
長谷川 忠 山之内 英樹
黒田 龍之介

議会広報委員会



◎黒田 龍之介 ○山之内 英樹
中川 由美恵 井上 智恵美
棚橋 優汰

議会運営委員会



◎須藤 敏規 ○永田 勝美
横田 博茂 中川 由美恵
黒田 龍之介

※議会運営委員及び常任委員の任期 令和7年7月1日～令和9年6月30日まで

一部事務組合等	氏 名
長崎県後期高齢者医療 広域連合議会議員	川副 剛

監 査 委 員 (議 会 選 出)	氏 名
	長谷川 忠

革命 25

う新議員

佐々町は、2年連続県内の「住みやすい町ランキング」1位に選ばれました。もっとよい町にしていきたいと思っています。

川副 剛 議員 (49歳)
無所属 2期



好きな食べ物：肉、寿司
趣味：映画鑑賞（恋愛・ホラーを除く）
マンガを読む事（ファブル、ゴリラマン、
ジョジョの奇妙な冒険（とくに4部））

異常気象で毎日猛暑に苦しめられています。自分が町に出来る事は何か。動いて出来ることをする時間はわずか。頑張ろう。

須藤 敏規 議員 (75歳)
無所属 5期



好きな食べ物：スイカ、
シャインマスカット
趣味：草刈り（周辺の環境整備）

住民が主人公！
みなさんと力を合わせて、
日本国憲法がくらしに生
きるまちづくりをめざし
ます。多様性（ダイバシ
ティ）と包摂（インクルー
ジョン）の佐々町を！

永田 勝美 議員 (71歳)
日本共産党 3期



好きな食べ物：特に嫌いなものはありませ
んが、肉、魚、果物が大好きです。
趣味：コーラス、旅行、読書、山歩き、
釣り

安心で活気ある
「笑顔で暮らす
町づくり」
に努めます。

横田 博茂 議員 (54歳)
無所属 2期



好きな食べ物：うなぎ
趣味：小鳥と遊ぶこと

町民の皆様による声を
聞き、現場に足を運び
安心安全に暮らせる町
づくりにて、見える町
政を実現したい。

長谷川 忠 議員 (71歳)
無所属 3期



好きな食べ物：魚、肉、スイーツ
趣味：音楽鑑賞（バラード系）、旅行、
映画（プライムビデオ）

町民の声を形にし、
未来への投資を提
案し、誇れる佐々
町に。

山之内 英樹 議員 (55歳)
無所属 1期



好きな食べ物：パスタ、肉、ワイン、
日本酒
趣味：ラグビー観戦 (TV)

新たな 20

佐々町を想

新人議員で頼りないか
とは思いますが、皆様
の声を聞かせてくださ
い。佐々町のために頑
張ります。

井上 智恵美 議員 (39歳)
無所属 1期



好きな食べ物：パン、スイーツ、桃
趣味：旅行、カフェ・パン屋めぐり

すべての世代に
やさしい町づくりを
誠心誠意努めます。

中川 由美恵 議員 (47歳)
無所属 1期



好きな食べ物：にゅう麺 (母が作った)、
ぶりカマ、マンゴー
趣味：芸術鑑賞会
(美術館、吹奏楽、マーチング)

若輩者ゆえ学ぶこと
が多いですが、佐々
町や農業の発展のため、一生懸命努めて
まいります。

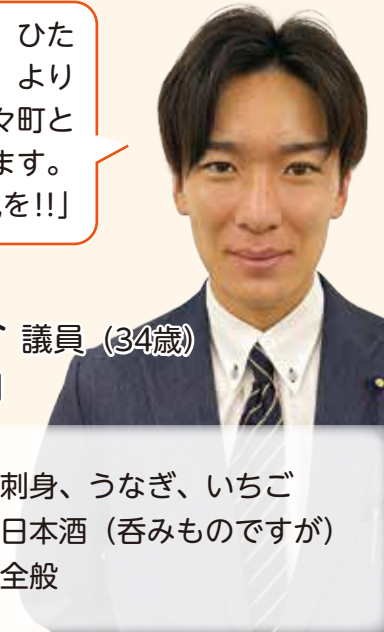
棚橋 優汰 議員 (29歳)
無所属 1期



好きな食べ物：カレー、ラーメン、かつ丼
うどん、お好み焼き、たこ焼き etc
趣味：映画鑑賞

新人議員らしく、ひた
むきな行動力で、より
一層魅力ある佐々町と
なるよう頑張ります。
「佐々町政に新風を!!」

黒田 龍之介 議員 (34歳)
無所属 1期



好きな食べ物：刺身、うなぎ、いちご
日本酒 (呑みものですが)
趣味：スポーツ全般

委員会報告

総務厚生委員会

7月18日(金)

【所管事務調査】

1. 緊急を要する事案について

① 定額減税補足給付金

(不足額給付)について(税財政課)

○国の経済対策に基づき、令和6年度税制改正において、令和6年分の所得税及び令和6年度分の個人住民税において定額減税が実施された。その対象者の中で減税しきれないと見込まれる方に対して、令和6年度において定額減税補足給付金(調整給付)を行ったが、支給額に不足が生じた方等に対し、令和7年度において定額減税補足給付金(補足額給付)を支給する。

【その他報告】

① 旧庁舎使用物品の譲渡会の開催について(総務課)

○旧庁舎の備品等の再利用を目的として譲渡会を開催するもの。譲渡対象は町内に事務所等がある公共的な団体とし、個人は対象外とする(対象団体52団体)。
・備品等は全部で800点程度とし、備品等1品につき100円を徴収する。
※金額については、他市町の実績を基に検討したもの。
・見学会には5団体程度参加
・備品代の収益は予算に計上する。
・譲渡できない場合は、鉄等は高く売れるため複数業者に見積依頼し、一番高いところに売却する予定。
・他の公共施設で必要ないかの確認は済ませており、譲渡済みである。

② 庁舎建設事業に係る今後のスケジュールについて(庁舎建設室)

○新庁舎の完成、供用開始と

産業建設文教委員会

7月15日(火)

【所管事務調査】

1. 緊急を要する事案について

① 大新田第2排水ポンプ場

No・3ポンプ故障について(建設課)

○大新田第2排水ポンプ場No・3故障により総排水能力が毎秒20→16・25㎡に低下。No・4起動水位を3・85→3・70mへ引下げ、土の増産・消防団出動要請・赤崎樋門や取水口の切替徹底で当面対応。計画諸元は時間雨量80・9mm(10年確率)。修繕費は7月定例会で計上予定。

【その他報告】

① 週休2日工事の実施要領の改定について(建設課)

なったが、旧庁舎の解体、駐車場整備が残っているため、今後のスケジュールについての説明があった。

改定について(建設課)

○8月1日の入札以降、通期に加え「月単位4週8休」達成で補正経費増額可。週休2日実施証明書は九州ブロックで廃止。

② 大新田排水機場の現状について(農林水産課)

○1号ポンプは温度計カバー脱落による短絡事故により故障。温度監視の上で通常運転。7月18日に取替予定。

③ 令和7年災 農地等被災状況について(農林水産課)

○農地2件、農業用施設2件の計4件が被災。9月から10月に行われる国の災害査定に申請予定。

④ 不納欠損処分について(水道課)

○水道料金、下水道使用料それぞれ1万7,500円を不納欠損処分。収納率は概ね94%台。

⑤ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について(企画商工課)

○タクシー事業者等燃油価格高騰対策支援金、学校給食費負担軽減事業についての説明。

⑥ 児童生徒用ノートパソコン(タブレット)の更新について(教育委員会)

○入札結果(県による共同調達)を踏まえて、今後の更新計画について説明。

⑦ 佐々・口石両小学校体育館屋根老朽化対策について(教育委員会)

○屋根外壁改修を行うための実施設計業務を行いたいとの説明。

⑧ 庁舎建設事業に係る今後のスケジュールについて(庁舎建設室)

○総務厚生委員会と同じ内容の説明。

一般会計補正予算

物価高騰支援

タクシー事業者等燃油価格高騰対策支援事業

- 燃油価格高騰の影響を受けており、社会インフラとして町民生活の維持に不可欠な運送事業者を支援
○町内に事業所または登録車両があるタクシー事業、運転代行事業、貸切バス事業を営む中小企業
○普通タクシー 1 台あたり 2 万円(17 台見込み)、ジャンボタクシー 1 台あたり 2.5 万円(2 台見込み)、福祉タクシー 1 台あたり 2 万円(2 台見込み)、代行車両 1 台あたり 2 万円(4 台見込み)、貸切バス 1 台あたり 3 万円(8 台見込み)

学校給食費負担軽減事業（小学 6 年生無償化分）

- 物価高騰による保護者負担を軽減し、中学校入学準備資金としてもらうため、
小学校 6 年生の給食費を無償化し、子育て世帯を支援
○佐々小学校、口石小学校に在籍する 6 年生児童の保護者を対象（対象児童数：約 160 人）
○令和 7 年 9 月分から令和 8 年 3 月分を補助対象（約 125 食）

2学期から
スタート

学校給食費相当額助成事業（小学 6 年生・中学生無償化分）

- 令和 6 年 1 月から実施している中学生の学校給食費を無償化及び本年 9 月から実施
予定の小学校 6 年生の給食無償化（上記）に伴い、その支援を受けていない方に
学校給食費相当額の助成を行い、子育て世帯を支援
○食物アレルギーのため給食の全部の提供を受けられず毎日弁当を持参している児童・生徒、
本町立外の小・中学校に在籍している児童・生徒（対象児童生徒数：約 40 人）
○令和 7 年 9 月分から令和 8 年 3 月分を補助対象（約 125 食）

2学期から
スタート

〈単位：千円〉

歳入	歳出
・国庫支出金 1,242,773	・議会費 88,589
・県支出金 706,631	・総務費 1,269,863
・繰入金 804,470	・民生費 2,561,209
・諸収入 202,014	・衛生費 811,446
・町債 369,700	・農林水産業費 212,648
	・商工費 90,019
	・土木費 969,957
	・消防費 231,854
	・教育費 817,753
	・災害復旧費 12,930

※金額は補正後の額

人事案件

固定資産評価審査委員会委員に就任されました。

まつお さわこ
松尾 佐和子 さん（任期）令和 7 年 8 月 1 日～令和 10 年 7 月 31 日

副町長に就任されました。

はまだ よしひさ
濱田 能久 さん（任期）令和 7 年 8 月 1 日～令和 11 年 7 月 31 日

令和 7 年 7 月臨時会・定例会 賛否表

○ は賛成 × は反対 — は棄権

議案番号	議案件名	須藤敏規	棚橋優汰	黒田龍之介	井上智恵美	中川由美恵	山之内英樹	横田博茂	永田勝美	長谷川忠剛	川副剛	評決数	結果
36	佐々町監査委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	川副議長は裁決に加わりません	9対0	同意
37	専決処分した事件の承認を求める件 (佐々町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	承認
38	専決処分した事件の承認を求める件 (佐々町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	承認
39	物品売買契約締結の件 (小・中学校児童生徒用ノートパソコン(タブレット)購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
40	令和 7 年度 佐々町一般会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
42	令和 7 年度 佐々町公共下水道事業会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
43	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	同意
44	佐々町副町長の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	×	○	○	○		8対1	同意

黒田 龍之介 議員(一問一答)…… 9ページ

防災対策について

- ① 総合的な防災訓練の実施
- ② 地滑り警戒区域の現状と対策

農業振興と企業連携による特産品開発について

- ① 水田の多面的機能への理解増進と稲作農家への給付制度
- ② 地元企業と連携した特産品開発による独自財源の確保

「スポーツのまち佐々」構想について

- ① 人工芝グラウンドの整備
- ② 佐々川河川敷を活用した憩いの場の整備

屋内遊技場建設について

- ① 佐々町立幼稚園跡地への立地可能性

中川 由美恵 議員(一問一答)… 10ページ

不登校支援について

- ① 不登校についての見解
- ② 不登校専門スクールカウンセラーの配置、保護者への周知と取り組み
- ③ 学校が取り組んでいる不登校支援
- ④ 適応指導教室の配置は十分か
- ⑤ 民間運営のフリースペースなど、教育委員会、3校との連携
- ⑥ 不登校生徒への出席扱い日数の不平等さ
- ⑦ 不登校生徒の学習支援

道路整備について

- ① 古川免、さざなみ保育園周辺の安全対策
- ② 劣化したグリーンベルトの塗り直し

永田 勝美 議員(一問一答)…… 11ページ

子育て支援について

- ① 学校給食費無償化
- ② 小中学校体育館への空調設備設置
- ③ 保育児童の負担軽減

物価高騰対策について

- ① 物価高騰対策として、若年世帯への家賃補助
- ② 政府の重点支援地方交付金を活用した事業

くらし・福祉の充実に向けて

- ① 町民の移動支援改善に向けた取り組み
- ② 「きこえ」の支援。補聴器購入助成

長谷川 忠 議員(一問一答)…… 12ページ

皿山公園に隣接する河川について

- ① 産業廃棄物の上を覆っているアスファルトによる健康被害の懸念

シルバー人材センターについて

- ① 「シルバー人材センター」の事務所位置、環境の推移、改善

南部地区体育館について

- ① トイレの老朽化と男女共用の状況
- ② 各体育館にエアコン設備設置

総合福祉センターの温浴施設について

- ① 老朽化に伴う具体的な調査の実施
- ② 現在と10年前の利用者数の変化
- ③ 安全性、衛生面に関する問題
- ④ 維持管理コストの年次推移と今後の見通し
- ⑤ 利用者アンケート等の実施

佐々駅舎2階の入居状況と今後の対応策について

- ① 「佐々駅舎交流センター」の2階のテナント募集と今後の方向性

山之内 英樹 議員(一括質問・一括答弁)…… 13ページ

公共施設の自由化・民営化・民間委託について 経済、観光活性化について

- ① 観光資源の活用にあたり、商工会や他機関との連携

行政への透明化と情報発信について

- ① SNSなどでの情報発信の充実及び方針、住民理解促進の具体策

行政のデジタル化、効率化について

- ① デジタル活用によるサービス改善、コスト削減、今後の目標等

一問一答方式…… 1つの質問に対して1つの答えを返し、質問と答弁を繰り返す方式。
一括質問・一括答弁……複数の質問項目をまとめて質問し、まとめて答弁を行う方式。



佐々町の未来へ向けた4つの提案 防災対策・農業振興・スポーツ振興・子育て支援は

佐々町を守り、より良い未来に向け発展していく為、質問しました。

黒田 龍之介

防災対策について

1. 総合的な防災訓練の実施について
2. 地滑り警戒区域の現状と対策について

平戸市・松浦市は今年度、自衛隊や関係機関による総合防災訓練を実施。新町町内会の「みんなの家」の定期開催の具体例を挙げ、共助体制の強化の要望。野寄・角山・栗林などの地滑り地区への点検強化。佐々町で想定される災害について、専門部署設置で即応性を高めるための質問をしました。

■質問

近隣行政と比較し、大規模災害を想定した町民参加型の総合防災訓練の実施、地域コミュニティを活かした共助体制強化のための予算確保、地滑り警戒区域の定期点検と報告、専任部署「災害対策課」の設置と専門人材配置を提案。

■町長

過去に佐々町で総合防災訓練の実施はなく、専任部署設置については消防・自衛隊OB活用を検討。地域コミュニティ

ティ強化は必要としつつも、具体的な訓練計画や実施時期は未定です。

農業振興と企業連携による特産品開発について

1. 水田の多面的機能への理解増進と稲作農家への給付制度について
2. 地元企業と連携した特産品開発による独自財源の確保について

耕作放棄地解消のため、水稲農家への給付を行い、兼業での稲作経営を推進。また、財源確保のため「佐々川の清流米」というブランド化と、地産地消の和牛や玉ねぎを活かした「佐々特産牛丼」の提案。レトルト牛丼の製品開発により、ふるさと納税返礼品の強化や災害時の非常食としての防災対策にも対応できるとし、提案しました。

■質問

水田の景観・防災機能を評価し、稲作農家への独自給付制度を提案。加えて、地元企業と連携した特産品開発(佐々

特産牛丼)を行い、ふるさと納税返礼品として活用し財源確保と農業支援を循環させる構想を示した。

■町長

水稲農家への給付制度の実施予定はありません。ただ、特産品開発や返礼品拡充は前向きに検討しています。

「スポーツのまち佐々」構想について

1. 人工芝グラウンドの整備について
2. 佐々川河川敷を活用したジョギングコースなど憩いの場の整備について

サン・ビレッジさざのサッカーやグラウンドゴルフ専用の人工芝化で、県北での大会開催による経済効果とスポーツ技術向上を。佐々川のジョギングコースには100メートルごとの標識の設置とカロリー表示で健康促進を提案。佐々川に集う魅力ある場所づくりを提案しました。

■質問

県北にない人工芝グラウンド整備を提案。サッカー・グラウンドゴルフ・防災拠点と

しての活用や、西九州さざば広域都市圏での協議を求めた。佐々川河川敷のジョギングコース化やドッグラン整備も提案。

■町長

人工芝は県北自治体所有では未整備で利点もありますが、導入費・維持費が高額となります。ニーズや施設実態を精査し、慎重に検討していこうと考えています。河川敷整備は県との協議や安全面調整が前提だと考えます。

子育て支援や世代間交流のための屋内遊技場建設について

1. 佐々町立幼稚園跡地への立地可能性について

■質問

雨天でも遊べる屋内遊技場を整備し、災害時でも活用できる多様性も提示。佐々幼稚園跡地を候補とし、公設民営やPFI方式の活用を提案。

■町長

跡地活用は町有地利活用検討委員会が審議中です。財源状況も踏まえ慎重に検討し、雨天時でも遊べる場所づくりについては前向きに検討します。

不登校支援は、地域全体で支えるべき問題

大きな柱の一つであると認識しております。



中川 由美恵

不登校現状を町はどう受け止め、どのような認識を持たれているのか。

不登校支援について

■質問

不登校問題は行政を含めた地域全体で支えるべき問題。佐々町にも不登校児童生徒がいるが、町は不登校現状をどのように受け止め、どのような認識を持たれているのか。

■町長

本町においても増加傾向にあることは認識しています。教育委員会を中心に部局横断した支援を用いてまいりたいと思っています。

■教育長

私自身もこの不登校の児童生徒の課題ということについては、大きな柱の一つであると認識しています。不登校生徒児童に寄り添い、今後さらに充実したものにしていきたいと考えています。

■質問

長崎県では不登校に特化した不登校専門スクールカウンセラーが配置されているが佐々町では活用、周知されているのか。

■教育長

佐々町の配置はありません。配置について県教育委員会の方にも要望を進めてまいりたいと思っています。

■質問

学校現場では、それぞれの子どもに応じた対応が求められる。現在三校では不登校児

童生徒に対してどのような不登校支援や取組があるのか。

■教育長

町内の小中学校におきましては全ての学校に心の教室相談員を配置しており、授業や学校生活に負担を感じた場合の居場所づくりとしてステッブルーム等を活用しています。

■質問

学校以外の居場所、学びの場は、とても重要で適応指導教室は、学習と社会的つながりの回復で大切な役割を果たす。適応指導教室の配置状況は十分なのか。

■教育長

佐世保市との連携で指導員を派遣していただいております。「サテライトあすなろ教室」を設置しています。

■質問

不登校児童生徒の支援拠点、民間団体のフリースペースなど活動している。こうした民間との連携も不可欠。教育委員会と三校とさまざまな連携や情報共有は十分なのか。

■教育長

連携の方針等は十分に定まっていけないというのが実情です。今後早急に対応のほうを進めてまいりたいと考えています。

■質問

なすなでは、週に二回出席扱いとなるが、その他の居場所がない為、不平等さを受け

入れなければならぬ。この問題をどう考えるか。

■教育長

今後本町における民間施設開拓、学校外の教育支援センターの配置を含めて多様なニーズに対応できる環境づくりについて、研究を深めます。

■質問

不登校児童生徒も学ぶ権利は保障されなければならない。どのような学習支援を行っているのか学びの提供、取組や支援はあるのか。

■教育長

各小中学校で工夫を凝らして実施しているところですが一人一人の学びの保障がかなえられるよう意を用います。

不登校支援は、学校だけの責任ではない。地域や行政が共に関わるべき問題。教員の業務緩和をすることは、結果的に子ども達の良い支援に繋がると考え町全体で支える仕組みづくりが必要だと思ひ質問しました。



道路整備について

■質問

古川免、さざなみ保育園周辺の歩道が狭く、車の往来も多い。住民、さざなみ保育園利用者、佐々小学校通学路の安全な歩道確保の検討はされているのか。

■町長

歩行者の安全確保の重要性を強く認識しています。県と連携を図りながら早期整備に向けて強く働きかけてまいりたいと考えています。



■質問

現在塗装されているグリーベンベルトの劣化が目立つ箇所がある。特に佐々小学校周辺や佐々中学校裏が目立っている。通学路でもあるため安全面からも塗り直しの検討はできないか。

■町長

町内では、消えかけている所や新たに整備が必要な箇所もあります。交通量や危険性などを判断しながら優先順位を決定し取り組みます。



永田 勝美

町長公約の学校給食費無償化どうするのか

今年度は小学校6年生のみ無償化します

学校給食無償化は現在中学校のみの実施です。県下各市町で全面実施が進んでおり、佐々町でも「全面実施をすすめるべき」と質問しました。

■質問

学校給食費無償化は令和4年から第3子の無償化、令和6年からは中学校生徒の無償化、そして、令和7年1月から3月については、期間限定であったが、小学校児童の無償化が実現した。現状は、4月から小学校では有償となっている。

今後どのように進めていくのか。

■町長

今回補正予算で、政府の交付金を活用して9月から小学校6年生の給食費を無償化したいと考えています。その際、町外の学校に在籍する児童やアレルギー等で弁当持参の児童・生徒へも給食費相当額を支援したいと考えています。

次年度以降については政府の動向を注視していきたいと考えています。

■意見

次年度以降、政府の施策というが、実現するのか予断を許さない。

ぜひとも、小学校全児童への無償化について、実施を求める。

体育館のエアコン設置をどう進める

小学校は老朽化しており慎重判断、中学校は適切であり検討中です

小中学校体育館への空調設置は①夏場の利用制限の解消②避難所としての環境整備の両面から必須かつ緊急の課題となっています。町長の姿勢について質問しました。

■質問

佐々町では具体的にどのように進めていくのか。

■町長

小学校体育館は両校とも老朽化が進んでおり、設置は慎重に判断する必要があります。中学校体育館は適切と考え教育委員会に研究させています。

■教育長

小学校については、施設が老朽化し、移動式のスポットクーラーなど、学校現場にしっかりとヒアリングをしながら考えなければならぬと思っています。

います。

いま、体育館の空調設備は各地で検討されており、視察等も含めて、この目で確認をしていきたいと思っています。

「保育の保護者負担軽減」はどう考えているのか

保育料は「子ども計画」で、副食費無償化は研究します

■質問

保育児童の保護者負担軽減の取組についてどのように取り組むのか。

■町長

保育料等の軽減、保育料・副食費の無償化はこども計画の中で施策として盛り込んであります。

また、副食費の無償化は、私の公約の一つです。実施時期は明確にお答えできませんが、研究・検討してまいります。

■意見

副食費無償化の費用は1825万円。保育所から小・中学校まで給食費を全額無償化にするという課題。ぜひ早急な実施を求める。

物価高騰対策として、若年世帯への家賃補助を求める

現時点では検討していません

■質問

実質賃金が3年連続でマイナスとなっている。とりわけ若年世帯での家賃負担は大きくなっている。他都市で実施されている家賃補助の制度化を求める。

■町長

佐々町の家賃については福岡県並みの家賃というのはよく分かっていますが、現時点では検討をしてきていません。今後も物価高騰対策としては国の交付金を活用した支援を行っていくことになるかと考えています。



※以上のほか、「町民の移動支援・通院・通学費助成」「きこえ・補聴器の支援」などについて、質問・提案を行いました。

町の仮置き場である現地の劣化対策は出来ないか

傷んでいる部分の舗装を行いたいと思っています

仮置き場として使用している場所に、産業廃棄物が埋設されアスファルトで覆ってある。雨水などで川に流れ込むことによる、健康被害の懸念について質問した。



長谷川 忠

■質問

現在、仮置き場はどのような調査・対策されているか。

■町長

皿山公園と真竹谷ため池の中間地点は、過去にゴミ処理施設があったこともあり、業務委託により、隣接する市瀬川において年2回、水質調査を実施しています。

水質調査の結果は、健康・生活環境項目の基準値を超える異常は見られていません。

■質問

水質検査を実施されているが、アスファルトの劣化状態を放置せず

修復はできないか。

■総務課長

可能な範囲で応急的な舗装を行います。



仮置き場

シルバー人材センターの事務所位置・環境は

公共施設等を活用した移転を検討しています

■質問

シルバー人材センターは、地域の高齢者が培った技術や経験を活かした就業を提供する重要な機関である。新庁舎

の構造や空きスペースの兼ね合いで、改善は進んでいるのか。

■町長

民間施設への移転は困難であることから、福祉センターに移転。（9月30日まで利用期間延長）委員会にもお諮りし意見をいただきたいと思っています。

トイレの男女共用の状況等について

トイレ男女別洋式化について仮設等を含め早急に対応します

■質問

南部地区体育館は多くの町民がスポーツや行事に利用し、災害時には避難所となる重要な施設である。トイレの男女共用の状況に、不安・不快の声が寄せられているが。

■町長

盗撮等の被害を防止する上で早急に対応すべきと認識。トイレ全面改修は時間を有するので、仮設等



体育館トイレ

を含め早急に対応したい。※（体育館エアコン設置は、前

日、同僚議員が質問された

ので割愛しました。）

総合福祉センターの温浴場施設について

長寿命化計画を策定し、利用者の声を集約して運営を検討します

■質問

温浴施設の10年間の利用者数についてどのように変化しているか。

■町長

総合福祉センターの温浴施設は平成9年5月に完成し28年経過しており、温浴施設は避難所開設時に使える状態にしたいと思っています。令和6年度の利用者は6,749人。平成27年度は1万2,199人で、10年間で5,450人が減少しています。

■質問

温浴施設の経費と1日平均の利用者数は。

■町長

令和6年度の温浴施設に係る収支状況は、利用者からの施設使用料金が年間95万円。維持管理コストは1,100万円。また、1日平均の利用者数は



温浴施設

令和6年度で18・5人。10年前は33・4人で、1日あたり14・9人少なくなっている状況です。

佐々駅舎2階の入居状況と今後の対応策は

町民の皆様

喜んでいただけるような利用方法を検討します

■質問

2階のテナント募集はされたいけれども応募に至らない現状で、現在、町の管理が続いているが、今後の方向性は。

■町長

2階の利用としては、町民の方が制作された作品の展示会やミニコンサートなどの御意見を参考にし、利用方法を検討します。

■質問

イベントルームとしての活用を考えておられるが、一般の方も無償にて利用出来るのか。

■企画商工課長

現在、普通財産になつておりますので、使用料の発生はしない状況になっています。



佐々駅舎



山之内 英樹

佐々町の新しい方向性と財源確保

～公共施設・観光・情報発信・D Xの観点から、
「稼いで還元する町政」をめざす

持続可能なまちづくりへ～

公共施設の自由化・ 民営化について

■ 質問

佐々町には公民館や農業体験施設をはじめ、暮らしや地域活動を支える多様な公共施設が設置されている。しかし長年にわたり運営形態や利用方法が大きく見直されており、利用者が限られる施設も見受けられる。民間活力を導入することで、効率的な管理や新たな収益創出が図れると考えるため、指定管理者制度やPPPなど官民連携の活用を積極的に検討すべきである。行政が自ら財源を生み出し、その収益を福祉や教育など未来への投資に還元する循環づくりこそ、これからの自治体運営に求められるものである。町長の基本的な考えを伺う。

■ 町長

公共施設等総合管理計画に基づき、PPP・PFIの導入や地域主体の管理拡大を進めます。公民館については社会

教育法の趣旨を尊重し当面は直営を継続する方針です。指定管理者制度をPFI等を含む官民連携手法の一つとして捉え、今後慎重に研究していく必要があると考えます。農業体験施設についてはドッグラン整備やオートキャンプ場へのリニューアルを進めながら、直営継続が民間活用かを議会とも協議し検討していきます。

経済・観光の 活性化について

■ 質問

佐々川や公園、四季の自然など本町には地域資源が数多く存在している。これらを活用し地域経済を活性化させるためには、行政だけでなく商工会や観光協会、民間事業者との連携によって交流人口を増やす戦略が重要である。観光資源を活かした産業振興への取組について町長の考えを伺う。

■ 町長

地域の祭りやイベントを商工会や観光協会と協力しながら実施しており、今後は古川岳遊歩道の整備や公園の維持管理など基盤整備にも重点を置き、民間の知恵も生かしながら地域経済の好循環につなげていきます。

行政の透明化・ 情報発信について

■ 質問

町民に行政への理解と信頼を得てもらうためには、情報を正確かつタイムリーに伝えることが不可欠である。町長部局だけでなく教育委員会や農業委員会、選挙管理委員会なども含めた全庁的な情報発信体制が必要であると考え。方針や事業の進捗を「見える化」する取組について町長の考えを伺う。

■ 町長

広報紙、ホームページ、町公式LINE、インスタグラムなどを活用し、防災・子育て・イベント情報などを発信しています。登録者も増加しており、今後は内容の充実と周知の強化によって、より多くの町民に届けていきます。

行政のデジタル化・ AI活用について

■ 質問

行政サービス向上と業務効率化の両立に向けて、オンライン申請やAI活用などデジタル技術の導入を積極的に進めるべきである。特に少人数体制の自治体においては、AIによる事務処理自動化が大きな効果をもたらすと考える。今後のデジタル化とAI活用の方向性について伺う。

■ 町長

D X推進会議を設置し、電子入札や電子契約、窓口改革などを幅広く検討しています。AI導入については機密性に十分配慮したガイドラインを整備し、業務効率化や働き方改革につながるよう慎重に進めていきます。

令和7年度 西九州自動車道建設促進協議会総会の報告

■日時

令和7年7月16日（水）
午後3時30分から

■会場

平戸市田平町民センター

■総会議事

- ① 令和6年度活動経過報告について
- ② 令和6年度決算報告並びに
監査報告について
- ③ 令和7年度役員の選任（案）について
- ④ 令和7年度活動計画（案）について
- ⑤ 令和7年度予算（案）について
- ⑥ 決議（案）について
- ⑦ 西九州自動車道の建設促進に
関する要望書（案）について

※令和7年度役員の選任について

顧問…川副剛 議員
副会長…横田博茂 議員
理事…井上智恵美 議員
監事…長谷川忠 議員
以上4名が就任いたしました。

※令和7年度活動計画（案）について

① 佐賀県・長崎県への要望活動
要望時期
8月8日（金）

要望先

佐賀県知事、佐賀県議会議長、
佐賀国道事務所長、長崎県知事、
長崎県議会議長、
長崎河川国道事務所長

② 国土交通省九州地方整備局への
要望活動
要望時期
10月中旬～11月上旬

要望先
九州地方整備局長

③ 国土交通省・財務省・地元選出
国会議員等への要望活動
要望時期
10月中旬～11月下旬

要望先
未定

以上の要望活動を予定しております。

西九州自動車道の全線開通を
早期実現するために、
これからも4市1町が協力し、
要望活動を行っていきます！



西九州自動車道建設促進協議会 要望活動

■日時

令和7年8月8日（金）
午前10時から

■会場

佐賀県市町会館、佐賀県庁、
佐賀国道事務所、長崎河川国道事務所、
長崎県庁

■要望先

佐賀県知事、佐賀県議会議長、
佐賀国道事務所長、長崎県知事、
長崎県議会議長、長崎河川国道事務所長

■要望活動内容

- ・ 公共事業費を増額するとともに、
道路関係予算の所要額の確保
- ・ 伊万里道路の事業促進と早期完成

- ・ 伊万里松浦道路の事業促進と早期完成
- ・ 松浦佐々道路の事業促進と早期完成
- ・ 防災・減災、国土強靱化のための
対策に必要な予算、財源の確保
- ・ 大規模自然災害に即応するため、
地方整備局の体制の充実・強化と、
災害対応に必要な資機材の
確保

以上の6項目を各要望先へお願い
しております。

※松浦～平戸区間が令和7年度には
開通となります！一日も早い全線
開通へ向けて、これからも要望活動を
続けていきます。

改めて、道路は繋がなくては
意味がないと感じました。
また、作って終わりではなく、
それをどう活かすのか、これから
町政の腕のみせどころです！



委員長研修会

■日時

令和7年7月24日（木）
午後1時30分から

■会場

長崎県市町村会館4階
第2会議室

議会運営と委員会の役割を 学びました

7月24日に行われた委員長研修会では、「議会運営と委員会の役割」について学びました。議会は町民の代表として、町長の仕事を監視し、公平で健全な行政運営を守る役割があります。また、条例や予算を決める「立法機関」としての機能も持っています。

委員会の大切な役割

委員会は本会議の前に詳しく調査・審査を行う場で、常任委員会や特別委員会では独自調査や政策提案も可能です。近年はオンライン開催や閉会中の活動もでき、柔軟な運営が進んでいます。

議会運営委員会は「議会のエンジン」

議会運営委員会は、議会の進行や

運営方針を調整する役割を持っています。多数決よりも「全員が納得するまで話し合う」ことを大切にしていきます。

学びをまちづくりに活かす

今回の研修で、議会と委員会が互いに補い合い、住民の声をしっかりと反映しながら、より良い町づくりを進めるための仕組みを再確認しました。



県下町村議会議員研修会

■日時

令和7年8月5日（火）
午後1時15分から

■会場

長崎県市町村会館6階大会議室

■講演

(1)「地域を維持可能とする公共交通政策」～自治体の主体的で適切な動きがカギ～
講師 加藤 博和氏

(2)「これからの地域社会のための獣害対策」～地域政策として獣害対策を考える～
講師 山端 直人氏

■研修所感

講演の前半は、地域公共交通の重要性についての内容の解説がありました。加藤先生の考え方や、地域公共交通の発展に足りないものは「運転手」ではなく「人件費」であるとデータや現場での具体的な事例を含め、大変説得力のある講演でした。講演の後半では獣害対策について行

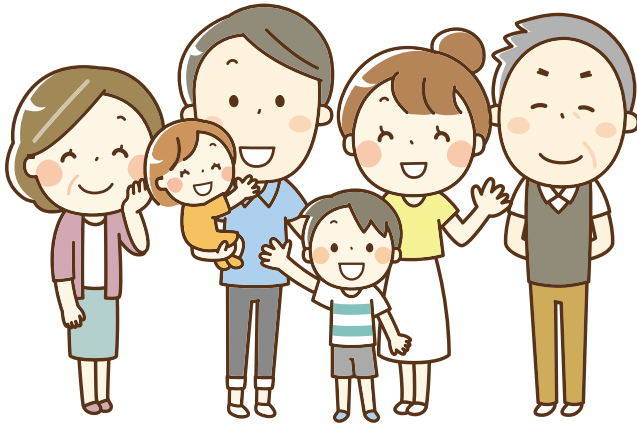
政の考え方や、地域住民の取り組みを実際に山端先生が関わった自治体の具体的な例を発表されました。獣害対策の全ては「守る」「獲る」「共有する」であり、対策の中心は行政であるべきですが、地域の方々にも協力し箱罠の設置や管理、また金網や電気柵を行い、情報を共有することで被害を抑えることができるという内容でした。今回の講演は、地域発展や振興の考え方を学ぶことができ、大変勉強になりました。



町民の皆様からよせられた

「声」ご意見!!

※原文のママ掲載しています。



新庁舎建設に

絡む問題は

一体どうなったの？

工事の遅延や多額の追加費用負担などが発生した新庁舎建設に絡む問題は何ら明確に解決されぬまま開庁式を迎え、現在、町民に利用されています。『議会だより』

第154号によると本年3月までの間に2回の臨時議会と計3回の全員協議会が開かれ、工事が遅延した原因究明や具体的な対応策について審議がなされているようですが、その多くは明確にされないまま「工事請負変更契約締結」が可決されました。

その後、3月議会終了とともに残念ながら官製談合事件の発生を受け役場内でも混乱が続き、新庁舎への移転準備も重なって業務に忙殺され、さらに町長及び町議会議員選挙を経て町長や町議の多くが人心一新したこともあり、まるで新庁舎建設に絡む諸問題は「過ぎ去ったこと（触れてはいけないパンドラの箱）」とされているように感じます。

昨年度来、役場側は議会に対して一向に明確な回答ができないままですが、議会側も新庁舎建設に関する調査特別委員会を自らの都合で事実上廃止したことも、事態

の解明が有効に進んでいない要因のひとつではないでしょうか？

状況を把握できていたはずの職員は異動や退職となり、町長並びに議員の半数も新たに誕生しましたが、過去の関係者によって起きたこと」とすることは許されません。

今年の秋には昨年度（令和6年度）予算の決算審査のための特別委員会が開催されます。このまま何の指摘も無く認定されるとは思えません。必ずや事実関係を明らかにし、原因究明と責任の所在を明確にし、有効な対策が講じられることを願っています。少なくとも工事が遅延したことに伴い本来負担する必要のなかったはずの公費が使われているからです。議会として正常なチェック機能の発現と行政（役場）側の適正な業務遂行に期待します。

佐々町羽須和免

染川 勝英

新進気鋭の町長、 財政施策に期待

今、町民の皆様が求めているのは、町民による町民のための町政、暮らしを守る町政、町民ファースト主義、器に合った財政施策、財政立て直しが町民の願いです。町が抱えているキー・ポイントを提起します。

1. 当初予算案の編成にあたって

町の財政施策は逼迫しており、財源には限界があるようです。従って、会計監査の意見書に指摘された内容を重く受け止め、上部機関と連携を深め、国・県の政策を活用し、予算案に繰入れ事業を推進することです。

2. 町有地への企業誘致促進

担当理事を設け、誘致活動をする事になっていましたが、適任者不在で数年なおざりになっている。幸いにも、国「地方創制資金」県「企業誘致促進強化」掲げています。町もハイウェイ網を活し、国・県とコミュニケーションを取り、企業誘致し、町の財源を確保する事です。

3. 防災対策について

町は過去に大水害を被った事があります。「天災は何時くるか分からない」国においても、能登半島の大地震を教訓に、令和7年度から防災庁を設置、予算化し、地方へ支局を計画しています。町も過去の経験を生かして、国の補助事業を活用し、政策・立案して、資金のメドを付け準備体制が必要です。

4. 町営住宅の建て替えについて

住宅の耐用年数が超過して、至る所に空家が多く雑草が散乱している。見る影もないようです。「住みたくなる町」へして下さい。

5. 議会改革推進（議会の在り方）

議員定数の削減、少数精鋭主義、一問一答方式を改め、「議論100戦して一利有り」、SNS・アプリ・デジタルの機能を充分活用して、議論を展開して欲しい。尚、先の選挙で半数の議員が衣替えとなりました。これを機会に、佐々町は官製談合事件で大恥をかいている。

よって、新進気鋭の議員が新風を吹き込み、第三者委員会を設け、原因を究明して、特別公務員の懲罰制度を条例で制定し、二度と事件が発生しないようにしてください。これが、佐々町の名誉挽回「再生の道」へと継承する事です。

佐々町須崎免

宮崎 勝紀



